

会議録要旨

(1) 会議の名称	第4回 越前市中心市街地活性化基本計画策定委員会
(2) 開催日時	平成27年11月5日(木曜日) 午後7時～午後9時
(3) 開催場所	越前市生涯学習センター 市民ホール2階 第3会議室
(4) 出席委員氏名	野嶋委員長、金田副委員長、西藤委員、黒田委員、山口委員、藤谷委員、清水委員、小形委員、坂口委員、梅田委員、能勢委員、石井委員、内藤委員、河端委員、竇田委員、田中委員
(5) 欠席委員氏名	村田委員、長田委員
(6) 出席オブザーバー氏名	福井県 商業振興・金融課 桑原主任、野澤主査 都市計画課 中屋主事 丹南土木事務所河川砂防課 橋本課長
(7) 出席所管課職員職氏名	建設部 今村部長、鎌谷理事、三田村政策幹 都市計画課 平野課長、石本主査
(8) 会議議題	報告事項 (1) 第3回策定委員会の結果について (2) 第3回ワークショップの結果について (3) 中心市街地活性化協議会の結果について 協議事項 (1) 策定スケジュール (2) 中心市街地活性化基本計画の骨子 (3) 数値目標の設定 (4) 中心市街地活性化基本計画の骨子案 (5) 将来像イメージ
(9) 傍聴者の数	なし
(10) 会議資料の名称	資料1 第3回策定委員会会議録 資料2 第3回ワークショップまとめ 資料3 越前市中心市街地活性化協議会会議録 資料4 策定スケジュール 資料5 第4回策定委員会資料
(11) 会議の内容の要旨	<p>■委員からの主な意見</p> <p>(①住宅支援に関して)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・まちなかは若い人が少ないので、子どもがいる若い人への住宅提供、国の補助金等を活用した家賃補助等を行い、若い人の定住を支援してほしい。 ・市、まちづくり会社、不動産業者の支援によって、空き家を若者が住めるような建物にリフォームして、安く提供してもらえるような方策を考えてほしい。 ・まちなかには活用できる土地が少ないので、空き地をつくる必要がある。建物の解体までには手間も時間がかかり、特定空き家の問題など現実には非常に厳しい。 ・住宅関係の補助金に関しては、予算の増額よりも有効に使えるよう制度の見直しを行ってほしい。その際は、実務担当者も交えて検討しなければ意味がない。 <p>(②狭あい道路に関して)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・まちなかには狭い道路が多く残っている。これも一つの武生のまちの文化ではないかと思うので、必要以上に道路拡幅等の整備は行わないでほしい。 ・観光まちづくりの視点からは、路地や歴史について価値を判断しながら、密集市街地のまちづくりを進めなければならない。全ての狭あい道路を拡幅するのではなく、歴史的な視点も含め評価することが重要である。

- ・狭あい道路が多い地区は、車が入れないからお年寄りが安心して歩くことができる。その点を生かしたまちづくりを考えてもらいたい。
 - ・狭あい道路を整備する目的の一つは緊急車両を通行させるためであるが、緊急車両をコンパクトにする方が、道路整備のコストより安いと思う。まちに合った緊急・救急車両や消防車両を作ればまちの特色にもなる。
 - ・まちなかの住民の立場から、狭あい道路を残そうと言うのであれば安全・安心を担保してほしい。具体的には冬場の除雪である。市の除雪も狭あい道路までは手が回っていないのが現実であり、住んでいる人も高齢化が進み、雪かきもできない状況である。
- (③まちなかの生活に関して)
- ・中心市街地は高齢化率が高いが、暮らすのに便利なところである。
 - ・第3回ワークショップで、空き家を活用して女性が集う場をつくるという提案があったが、男性が集える場も考えてほしい。
 - ・まちなかに賑わいをつくるためには、若い人や公民館で活動している方などの発表の場を設け、安く、誰でも使えるようにするとよい。
 - ・空き地を開放して2~3坪ぐらいの菜園造りを進めるなど、緑のまちづくりを進めるとよい。
 - ・若い世代のお母さん、お父さんは子どもの教育に対しては敏感なので、教育面のソフト的な施策も必要である。
 - ・各町内は疲弊しており、人手もないことから、お祭りができず、神社が守れない、山車もなくなってしまった。一つ一つの町内がもう少し元気になる方法があれば、まちなかは元気になると思う。
- (④観光に関して)
- ・中心市街地の立派なお寺を活用し、回遊させる施策が考えられる。寺巡りのついでに、お菓子屋等に立ち寄るなど、地場産業の発展にもつなげることができる。
 - ・観光地などでは、女性のニーズに合ったトイレが整備されている。化粧直しができ、赤ちゃんのおむつ替えができると子供連れでも安心して入れる。
 - ・「着物が似合う粋なまち、武生」をキャッチフレーズに「たけふ きものがたり」という団体活動を行っている。お寺巡り等の際に着物を貸し出しているが、オリンピックを前にして、着物の見直しが日本全国で盛り上がり、このような取組みを展開すれば、もっといろいろなイベントが盛り上がり、いくのではないかなと思う。
 - ・観光戦略が重要である。具体的に戦略的なところを強化した方がよい。
 - ・北陸新幹線が開通することから、新幹線と中心市街地についても考えてほしい。
- (⑤駅東のまちづくりに関して)
- ・駅西とは雰囲気、まちのカラーが全く変わってくる。地理的、地形的な状況を見ると村国山があって、日野川がある。駅から眺望したときにはその2つがパノラマ的に広がる。村国山を借景するようなランドスケープデザインを考えてはどうか。
 - ・日野川河川緑地がイベントや商業スペースとして活かされれば、かなり新しいカラーに仕上がっていく。
- (⑥駐車場に関して)
- ・まちなかの回遊を考えた場合に、駐車場の立地や整備も重要となるので、中心市街地における駐車場の考え方を整理してほしい。

(12) その他	特になし
----------	------